

今回は、今まで記載させていただいた事を改めて抜粋で伝えさせていただきます。

vol.11 「市川市、総イクメン化計画！」父親が変われば、社会が変わる！まずは今日、奥さんに花やスイーツをプレゼントしてねぎらってあげてください。vol.12 「最も冴えた高齢者福祉の取り組み方」養護老人ホームと学童保育・保育園の複合施設の創設。高齢者と子供は相性が良い。vol.13 「公人の対義語は何？」住む街が大好きでそれを中心に考える議員。肩肘はらずに自然体で、親近感があり、普段の生活の一部として活動を行える議員。そして「そんな議員は市川市を良くするために何ができるのか？」と常に自問自答を行う議員。vol.14 「目からうろこの再就職の仕方」不景気だ！政治が悪い！と評論する前に、まずは行動していきたい。vol.15 「自殺者0人の社会を目指して part.2」毎年ばらつきなく80人が自殺している現状であれば、自殺の原因や背景に規則性がある。vol.16 「決戦の後に」私より優秀な人たちが敷居の高さを気にせず、ドンドン市川市議会議員選挙に挑戦して、今よりもっとみんなが幸せに暮らせる市川市を構築する事が最終目標。vol.17 「夏休み疎開プロジェクト F O R 福島」1週間だけでも子供達には放射線を気にせず思いっきり外で遊んで欲しい。vol.18 「政治家になれるのは何歳から？」「政治家になる」という事を、少しでも身近に感じてもらえれば。そして、少しでも政治の見え方が変われば。vol.19 「政治って何だろう？」飽くまで冷静に将来を見据えて、市川市にとって、私たちににとって、最良だと思ふ決断・行動をとっていききたい。

告知です。後援会の入会募集をしています。無料です。入会して頂きたい理由は、4年に1回「増田好秀」と書いたハガキを送りたいからです。「アイツ名前なんだっけ？」防止のため、ハガキを持って行って頂きたいです。入会希望はメールやツイッター等でお願いします。「今後も住み続けてみたい市川市」を思い描き、話し合ってみてください。個々人の想いが集まれば、良い社会、街が形成されると信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成24年2月7日

増田好秀